

## 本院で受診の患者さん・ご家族の皆様へ

大分大学医学部公衆衛生・疫学講座では、「大分県厚生連 鶴見病院のレセプト及びDPCデータを用いた医療の質等の分析」を行っています。

なお本研究は、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査され承認され、大分大学医学部長の許可を得ています。

以下に、この研究についてご説明します。

### 【研究課題名】

大分県厚生連 鶴見病院のレセプト及びDPCデータを用いた医療の質等の分析

### 【研究対象となる方】

2018年4月～2022年12月に大分県厚生連 鶴見病院を受診した方

### 【研究期間】

2023年5月23日～2028年3月31日

### 【研究目的・方法】

大分県厚生連 鶴見病院のレセプト及びDPCデータを分析し、医療の質ならびに医療の効率に係る指標を抽出するための研究を行います。診療科ごとのベンチマークとなる指標を開発し、過去5年間の診療実績の分析から、医療提供体制側の質について検討を行うことを目的とします。

### 【研究に用いる情報の種類(電子データのみ)】

診療月が2018年4月～2022年3月である、医科(入院・外来)、およびDPCの電算化されたデータを用います。これらのデータは、仮名加工情報となっており、個人情報に含まれていません。

### 【情報の授受・公表】

本研究は、情報の提供元である大分県厚生連 鶴見病院からの受託研究として実施します。情報の授受の際には、本学と情報の提供元とで覚書を交わします。本学が受け取るデータには、個人情報に該当する対象者の氏名、生年月日その他の記述により特定の個人を識別することができない項目は含まれていません。そのため、大分大学において、このデータに関する個人情報は一切保有しません。

研究結果は大分県のホームページで公開するとともに、学会誌などで発表することがありますが、公開されるのは数値のみです。

#### 【情報の保存】

保存方法は、次の通りです。紙の資料は大分大学医学部公衆衛生・疫学講座の鍵のかかる保管庫において保存し、電子データは、同講座のパソコンへパスワードを設定して保存します。保存期間は、論文発表後 10 年間とします。また、これらの情報を廃棄する際、紙の資料はシュレッダーまたは焼却処分とし、電子データはデータが復元できないよう完全に削除します。

#### 【外部への情報提供】

本研究で使用するデータは、大分県地域医療構想の推進を目的とするレセプト分析の研究組織以外の他の機関に提供することはありません。

#### 【研究資金】

本研究は、大学の基盤研究費を用いて実施します。対象となる方の費用負担はありません。

#### 【利益相反】

この研究は、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反(資金提供者の意向が研究に影響すること)は発生しません。

#### 【研究組織】

〈大分大学における研究組織〉

研究責任者	大分大学医学部公衆衛生・疫学講座	教授	斉藤 功
研究分担者	同	助教	船越 弥生
	同	大学院生	内山田 健次
	同	大学院生	平野 直樹

#### 【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい、

住所: 〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電話: 097-586-5735

研究責任者 : 大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授 斉藤 功

なお、本研究への情報を提供するかしないかは、本研究対象者ご自身の自由です。情報が本研究に用いられることについて、対象者ご本人、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。

その際には、下記の連絡先までお申出ください。この場合も対象者ご本人に不利益が生じることはありません。

〈照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先〉

大分県厚生連 鶴見病院 院長 すずき まさよし  
鈴木 正義  
(電話 0977-23-7111)